

# つながる基地局に

東日本大震災の発生直後、被災地で携帯電話の通信が途絶した。その教訓を受け、携帯電話の通信が途絶した状態を想定して、その対策を講じている。今回は、携帯電話の通信が途絶した状態を想定して、その対策を講じている。今回は、携帯電話の通信が途絶した状態を想定して、その対策を講じている。

## ■停電を防ぐ

震災発生直後、東北六県、東日本大震災の発生直後、被災地で携帯電話の通信が途絶した。その教訓を受け、携帯電話の通信が途絶した状態を想定して、その対策を講じている。今回は、携帯電話の通信が途絶した状態を想定して、その対策を講じている。

## ドコモ 広範囲カバーの新型 KDDI 海保の巡視船と連携 ソフトバンク 気球に中継システム

### 携帯各社の取り組み

**大ゾーン基地局** 主にドコモが整備

基地局が停電した都心部  
基地局が倒壊した住宅街  
最寄り基地局が倒壊した住宅街

**気球基地局** ソフトバンクが配備

通信衛星  
停電や倒壊で基地局がダウンした地域

**船舶基地局** KDDIが実証実験中

基地局がダウンした海沿いの集落

## 公衆電話 災害時に強み

一連の対策でも携帯電話の通信が途絶した状態を想定して、その対策を講じている。今回は、携帯電話の通信が途絶した状態を想定して、その対策を講じている。

### 災害用伝言板サービスの一例

携帯各社の携帯電話、スマートフォンに表示される「災害用伝言板サービス」を選択

**災害用伝言板**  
安全情報の登録・確認ができます。

**伝言板確認**  
安全を確認したい人の携帯電話番号を入力して検索ボタンを押してください。

**伝言板登録**  
2014/10/20 xxxx  
自宅に居ます。  
足をケガした。助けて

**伝言板確認**  
2014/10/20 xxxx  
自宅に居ます。  
足をケガした。助けて

**伝言板登録**  
2014/10/20 xxxx  
自宅に居ます。  
足をケガした。助けて

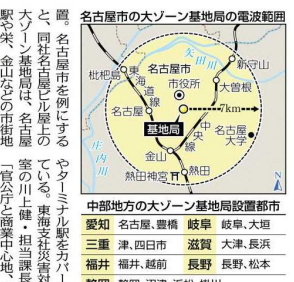
### 災害用音声お届けサービス

相手の携帯電話宛てにメールするのではなくて送信できる

音声メッセージを送信  
受信通知（メール）  
音声メッセージを再生

**災害用伝言板は各社共通**

大震災が起きたら、携帯各社共通で、スマートフォンや携帯電話の画面に「災害用伝言板」と表示が出る。ネット上で安全確認ができる無料サービスだ。各社とも防災週間などに随時、体験サービスもしている。スマホが中心で、携帯電話は一部機種に限られるが、「災害用音声お届けサービス」は音声メッセージを録音する「災害用伝言板」も、公衆電話だけでなく自宅の電話や携帯電話でも使用できる。



また、被災地では、公衆電話の設置も進められている。被災地では、公衆電話の設置も進められている。被災地では、公衆電話の設置も進められている。

避難所での設置 静岡・長野が先行

以前から東海地震が想定されていた静岡県や、活断層が数多くある長野県は、震災発生後、避難所での公衆電話の設置を進めてきた。震災発生後、避難所での公衆電話の設置を進めてきた。

設置する予定の箇所数	約1000カ所
静岡県	約1000カ所
長野県	約70カ所
岐阜県	70カ所
愛知県	30カ所
三重県	20カ所
滋賀県	0カ所
福井県	0カ所

海上保安庁と共同で、巡視船に設置した基地局から電波を飛ばす実験を進める。今年五月に鹿児島県の大隅半島で実験を行い、船舶基地局からの電波で通信できることを確認した。

KDDIは、昨年12月に津波で基地局が倒壊したケースを想定して、関係機関と協力して、早期の実用化を目指している。

「備える」は毎月第1、第3月曜日に掲載。今回は11月3日まで。